

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

®

地理歴史

〔世界史A 世界史B 日本史A〕 (各科目)
〔日本史B 地理A 地理B〕 (100点)

注意事項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の第1解答科目欄・第2解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
世界史 A	4 ~ 31	受験できる科目数は、受験票に記載されているとおりです。 なお、以下の組合せは選択できません。 ・「世界史A」と「世界史B」 ・「日本史A」と「日本史B」 ・「地理A」と「地理B」
世界史 B	32 ~ 63	
日本史 A	64 ~ 91	
日本史 B	92 ~ 123	
地 理 A	124 ~ 155	
地 理 B	156 ~ 189	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

6 不正行為について

- ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
- ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者がカードを用いて注意します。
- ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

7 2科目受験者の試験の進行方法について(2科目受験者のみ確認)

- ① この試験は、前半と後半に分けて実施します。
- ② 前半に解答する科目を「第1解答科目」、後半に解答する科目を「第2解答科目」として取り扱います。解答する科目及び順序は、志望する大学の指定に基づき、各自で決めなさい。
- ③ 第1解答科目、第2解答科目ともに解答時間は60分です。60分で1科目だけを解答しなさい。
- ④ 第1解答科目の後に、答案を回収する時間などを設けてありますが、休憩時間ではありませんので、トイレ等で一時退室することはできません。

注) 進行方法が分からない場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。

8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

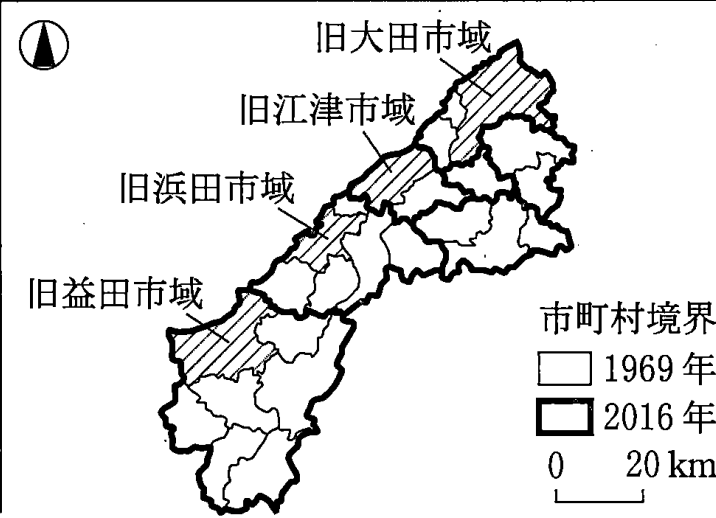
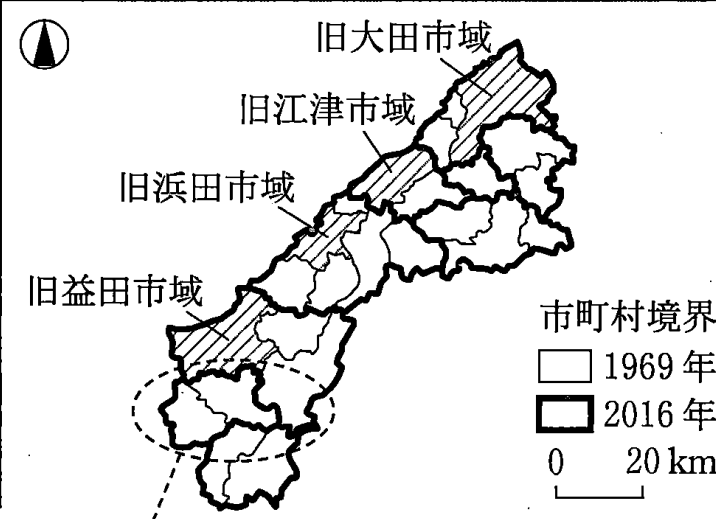
問題訂正紙

地理歴史

注意事項

- 1 試験開始まで、この問題訂正紙の中を見てはいけません。「解答はじめ。」の指示の後に、訂正の内容を確認しなさい。
- 2 試験終了後、問題訂正紙は持ち帰りなさい。

地理歴史「地理A」「地理B」 共通問題

<p>訂正箇所</p>	<p>「地理A」 149ページ 第5問 問2 図2右下図 「地理B」 183ページ 第5問 問2 図2右下図</p>
<p>誤</p>	 <p>Map showing the boundaries of old cities in 1969. The cities are labeled: 旧大田市域 (Old Ohtani City), 旧江津市域 (Old Hatsu City), 旧浜田市域 (Old Hamamatsu City), and 旧益田市域 (Old Masuda City). The legend indicates that the 1969 boundaries are shown with a white fill. A scale bar shows 0 to 20 km. A north arrow is present in the top left corner.</p>
<p>正</p>	 <p>Map showing the boundaries of old cities in 2016. The cities are labeled: 旧大田市域 (Old Ohtani City), 旧江津市域 (Old Hatsu City), 旧浜田市域 (Old Hamamatsu City), and 旧益田市域 (Old Masuda City). The legend indicates that the 2016 boundaries are shown with a black outline. A scale bar shows 0 to 20 km. A north arrow is present in the top left corner.</p>

2016年の市町村境界を追加した。

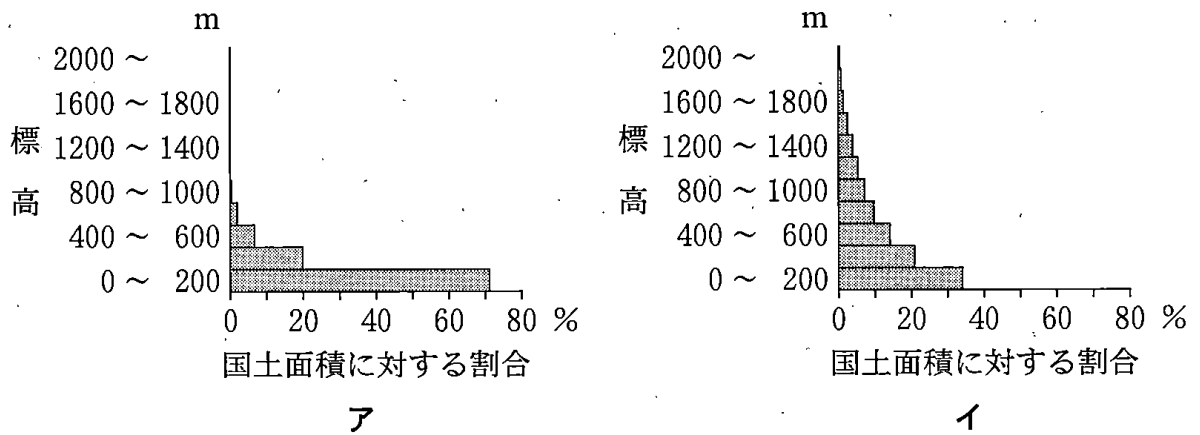
地 理 B

(解答番号 ~)

第1問 世界の自然環境と自然災害に関する次の問い(問1~6)に答えよ。

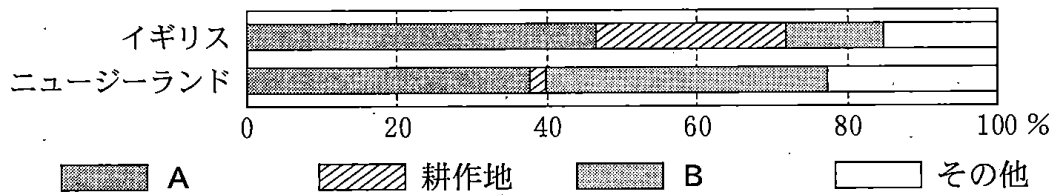
(配点 20)

問1 次の図1中のアとイは、イギリスとニュージーランドのいずれかにおける国土の標高別面積割合を示したものである。また、後の図2は、イギリスとニュージーランドにおける国土の土地利用割合を示したものであり、凡例AとBは、森林と牧草地のいずれかである。ニュージーランドに該当する図と牧草地に該当する凡例との正しい組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。



General Bathymetric Chart of the Oceans の資料により作成。

図 1

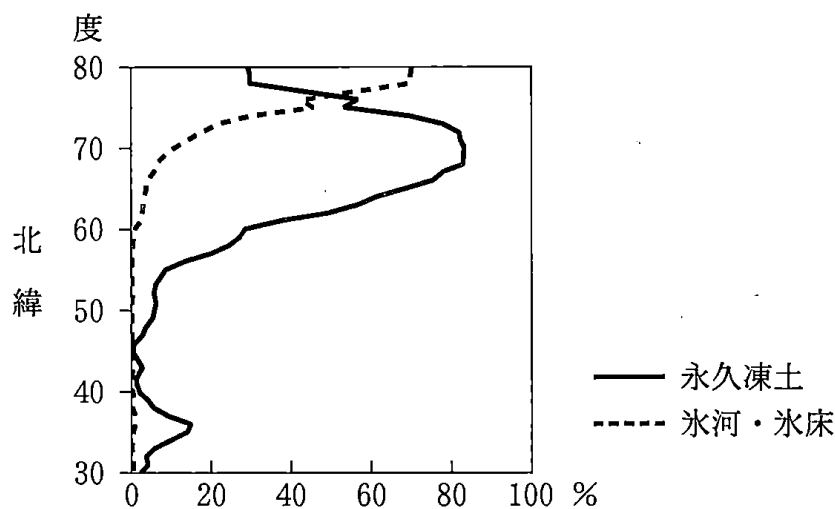


統計年次は2018年。FAOSTATにより作成。

図 2

	①	②	③	④
ニュージーランド	ア	ア	イ	イ
牧草地	A	B	A	B

問 2 地球上の寒冷な地域には、永久凍土と氷河・氷床が分布する。次の図 3 は、北緯 30 度から 80 度における、緯度ごとの陸地に占める永久凍土と氷河・氷床の割合を示したものである。図 3 に関することがらについて述べた文として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 2



Ran et al. (2022)により作成。

図 3

- ① 北緯 30 度から 45 度における永久凍土の分布は、チベット高原やヒマラヤ山脈などアジアの高山地帯が中心である。
- ② 北緯 45 度から 70 度にかけて永久凍土の割合が増加する原因には、主に高緯度側ほど日射量や年平均気温が低下することがあげられる。
- ③ 北緯 60 度から 80 度にかけて氷河・氷床の割合が増加する原因には、主に高緯度側ほど降雪量が多くなることがあげられる。
- ④ 北緯 70 度から 80 度の氷河・氷床に覆われていない陸地では、ほとんどの地域で永久凍土が分布する。

地理B

問 3 次の図4中のD～Gは、ヨーロッパのいくつかの地域で見られる海岸付近の地形を示したものである。また、後の文①～④は、図4中のいずれかの地域における海岸の特徴について述べたものである。Eに該当するものを、①～④のうちから一つ選べ。

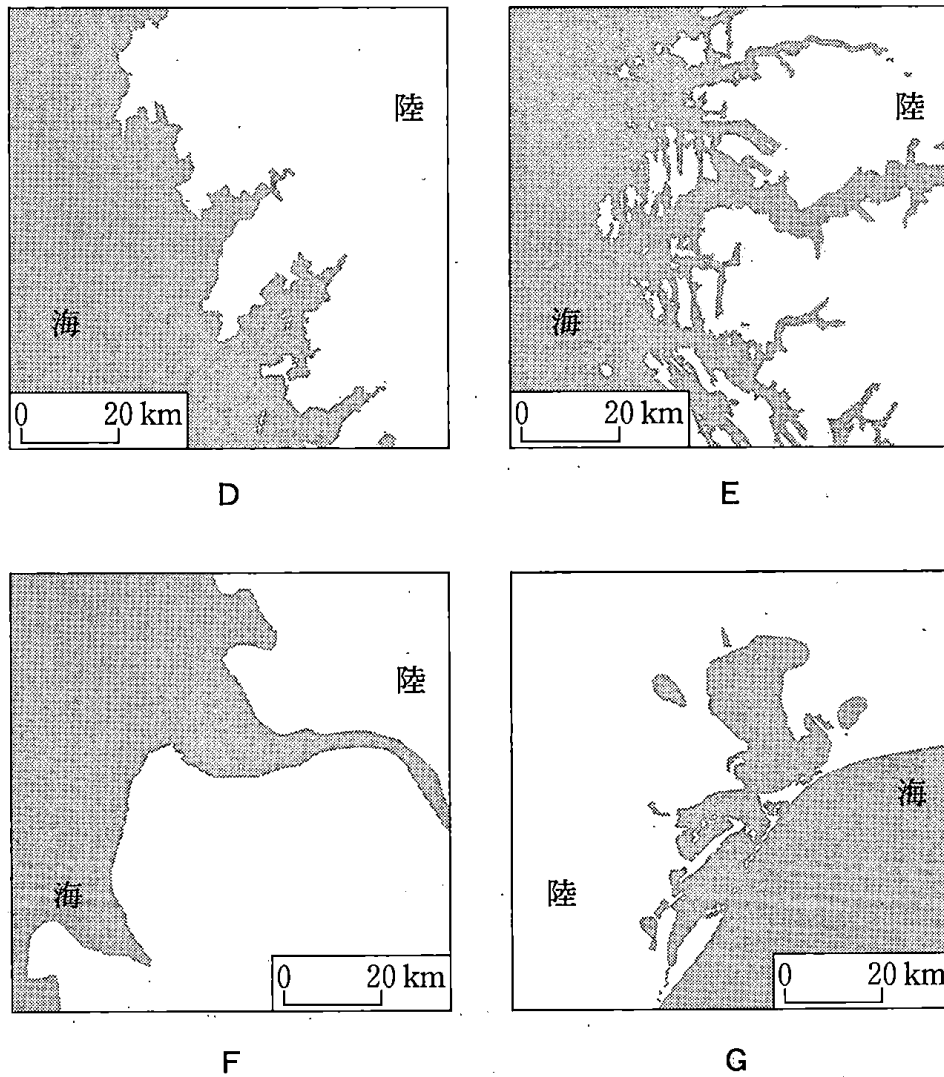
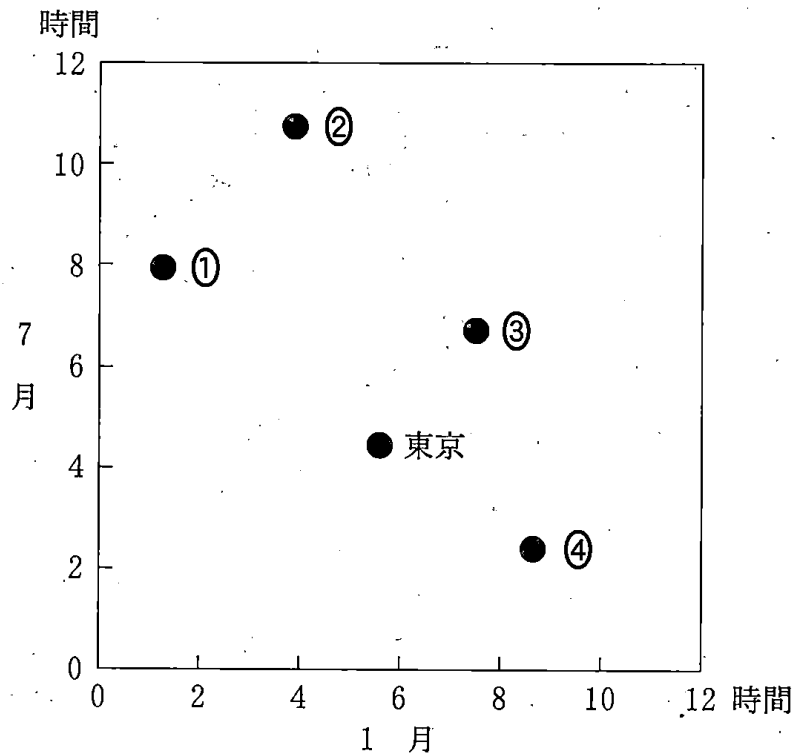


図 4

- ① 沿岸流で運ばれてきた土砂の堆積により、入り江の閉塞が進行している。
- ② 河川の侵食で形成された谷が沈水し、海岸線が複雑な入り江が連なる。
- ③ 大河川の河口部が沈水してできた深い入り江がみられる。
- ④ 氷食谷が沈水してできた深い入り江がみられる。

地理B

問 4 世界の各都市の日照時間は、都市が位置する緯度や気候によって異なる。次の図5は、いくつかの都市における1月と7月の1日当たりの日照時間を示したものであり、①～④は、オスロ、シドニー、ムンバイ(ボンベイ)、ローマのいずれかである。ムンバイに該当するものを、図5中の①～④のうちから一つ選べ。



統計年次は、東京、オスロ、シドニー、ローマが1961～1990年の平均値、ムンバイが1971～1990年の平均値。

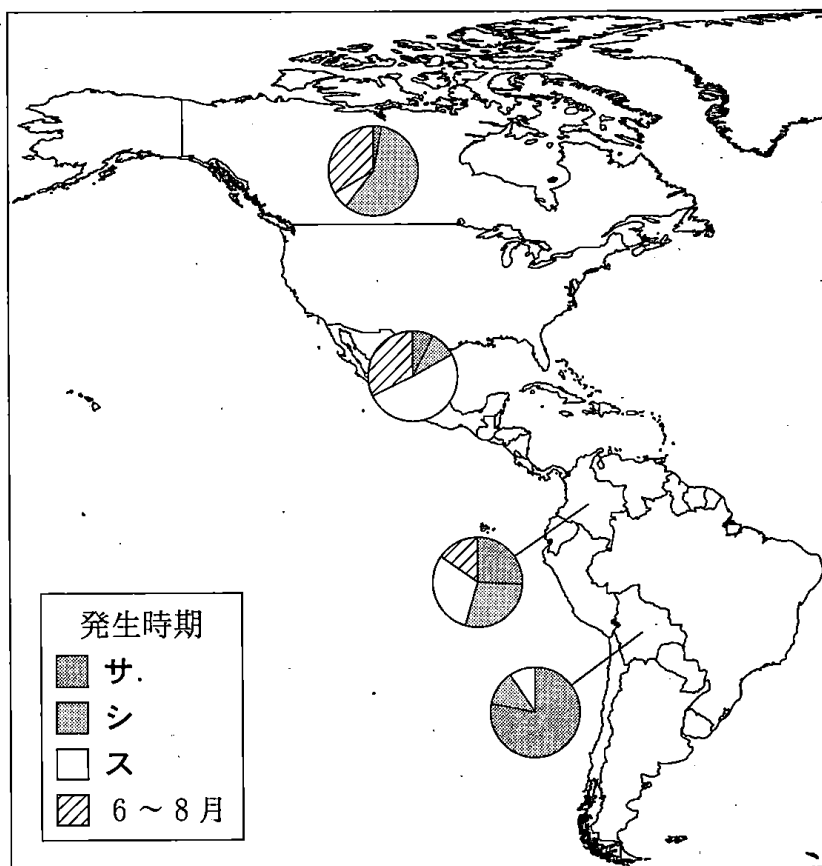
World Meteorological Organizationの資料により作成。

図 5

地理B

問 5 次の図6は、カナダ、コロンビア、ボリビア、メキシコにおける洪水災害*の時期別発生割合を示したものであり、凡例サ～スは、3～5月、9～11月、12～2月のいずれかである。発生時期とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

*死者10名以上、被災者100名以上、非常事態宣言の発令、国際援助の要請のいずれか一つ以上をもたらしたもの。



統計年次は1991～2020年。EM-DATにより作成。

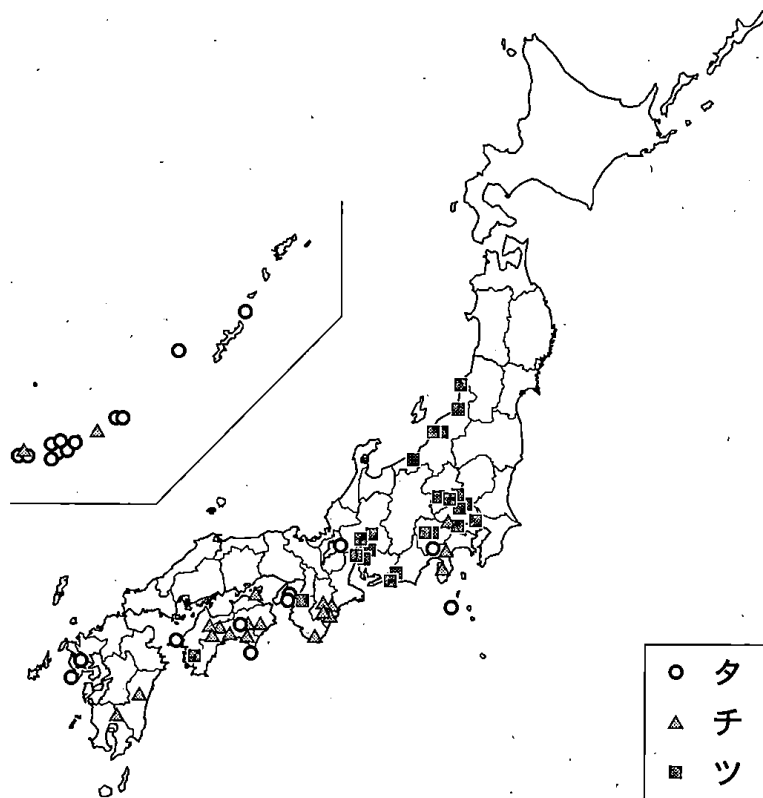
図 6

	①	②	③	④	⑤	⑥
3～5月	サ	サ	シ	シ	ス	ス
9～11月	シ	ス	サ	ス	サ	シ
12～2月	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理B

問 6 次の図7は、日本国内の1976年から2021年における、いくつかの気象観測項目の最大記録*が上位20位までの地点を示したものであり、凡例タ〜ツは、最高気温、最大風速、日降水量のいずれかである。項目名とタ〜ツとの正しい組合せを、後の①〜⑥のうちから一つ選べ。 6

*全国のアメダスと気象官署等の日別観測値のうち、それぞれの地点における最大の値。



気象庁の資料により作成。

図 7

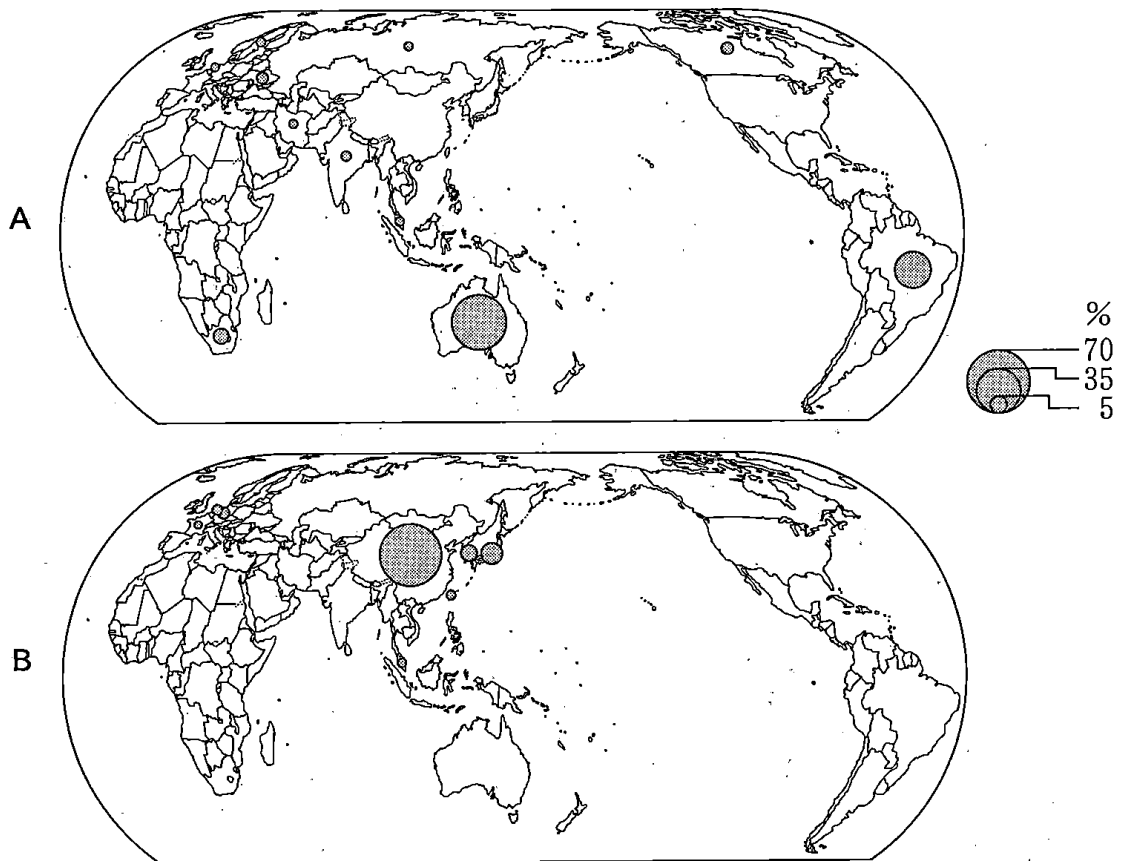
	①	②	③	④	⑤	⑥
最高気温	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
最大風速	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
日降水量	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

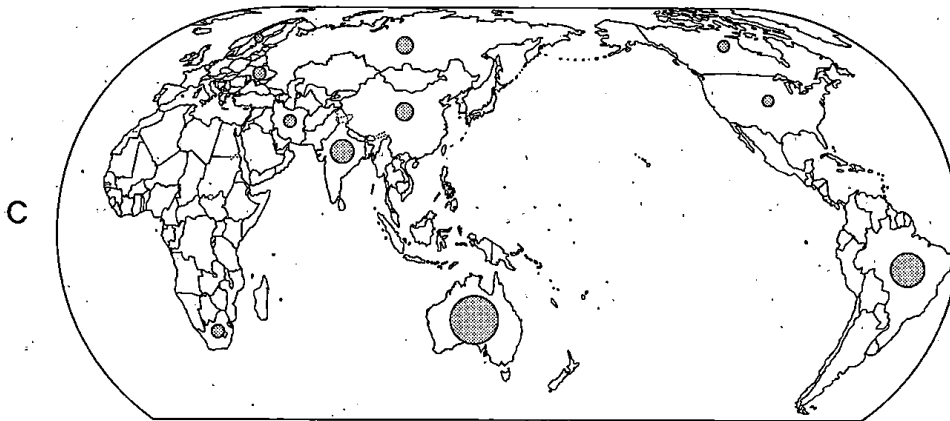
地理B

第2問 ヨシエさんたちは、地理の授業で鉄鋼業を手掛かりに、世界と日本の資源と産業の変化について探究した。この探究に関する次の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 20)

問1 授業の冒頭で、先生は次の図1を示した。図1中のA～Cは、鉄鋼の原料となる鉄鉱石の産出量、輸出量、輸入量のいずれかについて、世界全体に占める割合が1%以上の国・地域とその割合を示したものである。項目名とA～Cとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

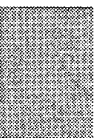




中国の数値には台湾，ホンコン，マカオを含まない。
統計年次は 2017 年。World Steel Association の資料により作成。

図 1

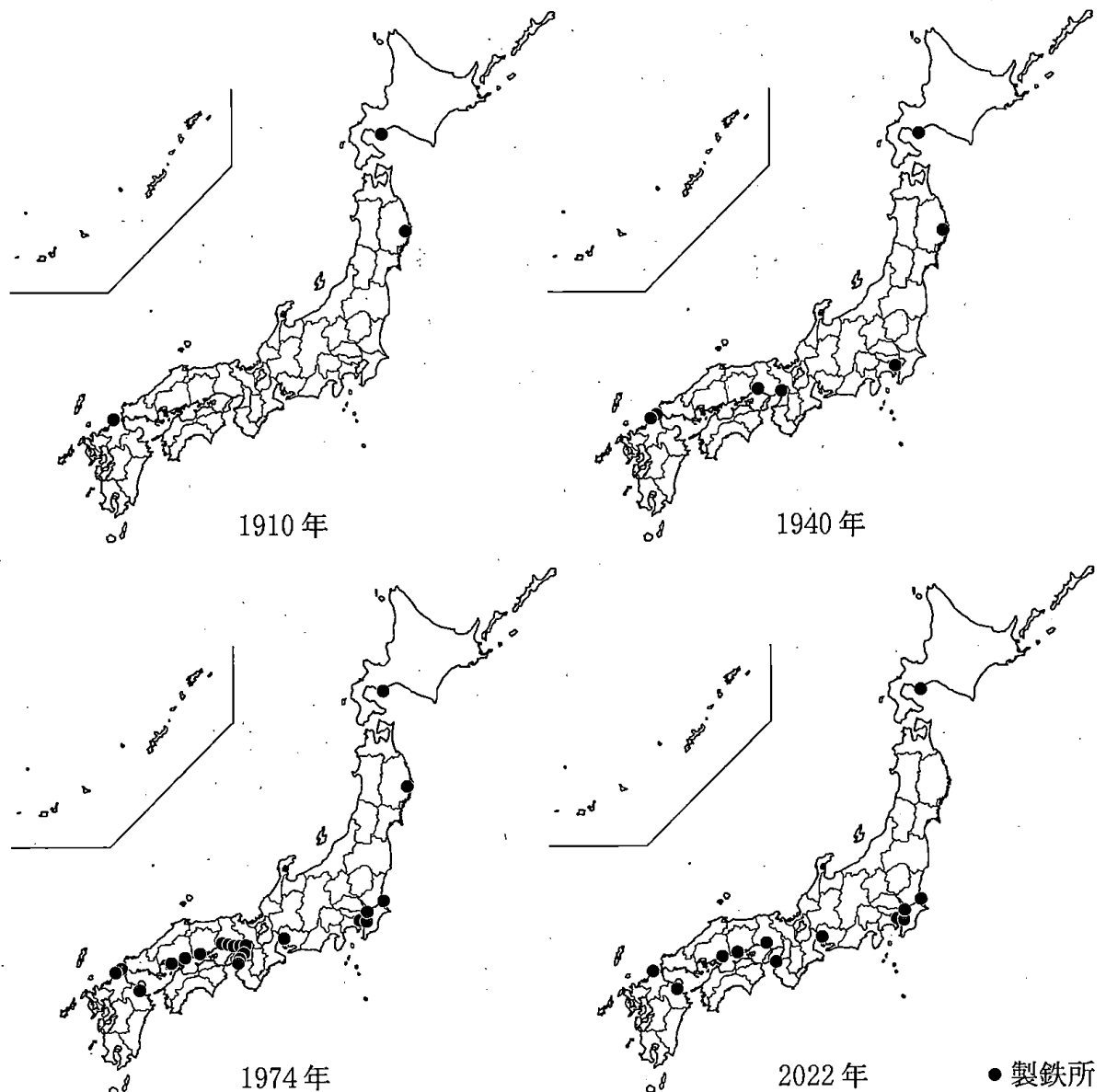
	①	②	③	④	⑤	⑥
産出量	A	A	B	B	C	C
輸出量	B	C	A	C	A	B
輸入量	C	B	C	A	B	A



地理 B

問 2 ヨシエさんたちは、日本の鉄鋼業の発展を調べるために、製鉄所の立地の変化に着目した。次の図 2 は、1910 年、1940 年、1974 年、2022 年における日本国内の製鉄所*の立地を示したものである。図 2 を見て話し合った、先生とヨシエさんたちとの会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。 8

せんこう
* 銑鋼一貫工場を指す。



日本鉄鋼連盟の資料などにより作成。

図 2

先生 「製鉄所の立地の変化には、どのような特徴がありますか」

ヨシエ 「1910年の図を見ると、製鉄所はいずれも原料や燃料の産出地の近くに立地していたことが分かるよ」

マキオ 「製鉄に使われる原料や燃料の重量と製品の重量を比べると、①原料や燃料の方が重く、産出地の近くに立地することで輸送費を安くすることができるとだね」

ヨシエ 「1940年の図を見ると、東京湾岸や大阪湾岸にも製鉄所が立地していたよ」

マキオ 「大市場の港湾近くに立地するようになったのは、②国内に埋蔵される原料や燃料が枯渇して、国外から輸入する傾向が強まったからだね」

ヨシエ 「1974年の図を見ると、三大都市圏や瀬戸内の臨海部で製鉄所が増加しているね」

マキオ 「こうした製鉄所は主に、③臨海部に造成された埋立地に建設されたと思うよ」

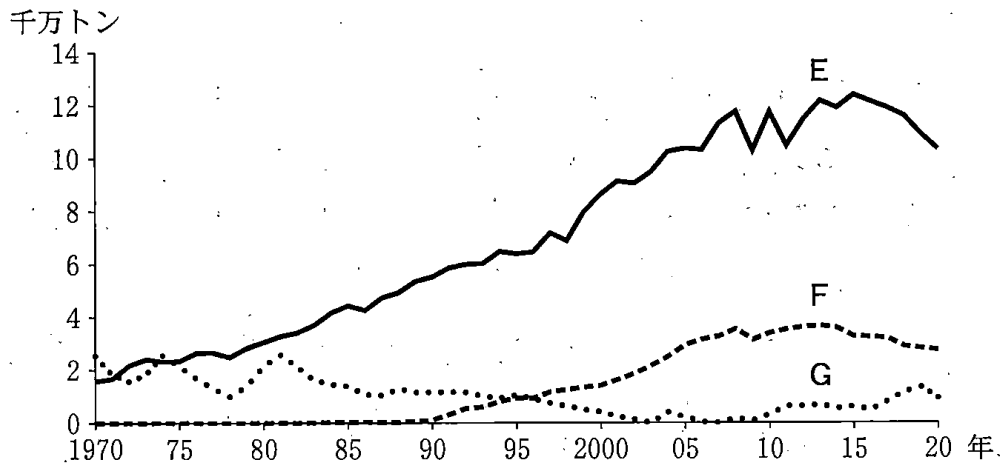
ヨシエ 「2022年の図を見ると、1974年と比べて製鉄所が減少しているね」

マキオ 「外国との競争などによる、④経営の合理化や企業の再編が影響していると考えられるよ」



地理 B

問 3 ヨシエさんたちは、鉄鋼業などで原料や燃料として用いられる石炭の輸入相手国に着目した。次の図 3 は、日本におけるいくつかの国からの石炭輸入量の推移を示したものであり、E～Gは、アメリカ合衆国、インドネシア、オーストラリアのいずれかである。また、後の文章ア～ウは、図 3 中の E～G のいずれかにおける石炭の生産や消費の特徴を述べたものである。E～G とア～ウ との組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 9



財務省貿易統計などにより作成。

図 3

- ア 採掘技術の進歩などによって石炭産出量が急増したことで、輸出量が増加した。この国の国内でも火力発電を中心に消費量が増加している。
- イ 世界有数の資源大国で、石炭は大規模な露天掘りによって大量に採掘されている。国内市場は小さく、採掘された石炭の多くが輸出されている。
- ウ 石炭の確認埋蔵量は世界で最も多い。国内市場の大きさを背景に、この国の国内における消費量も世界有数である。

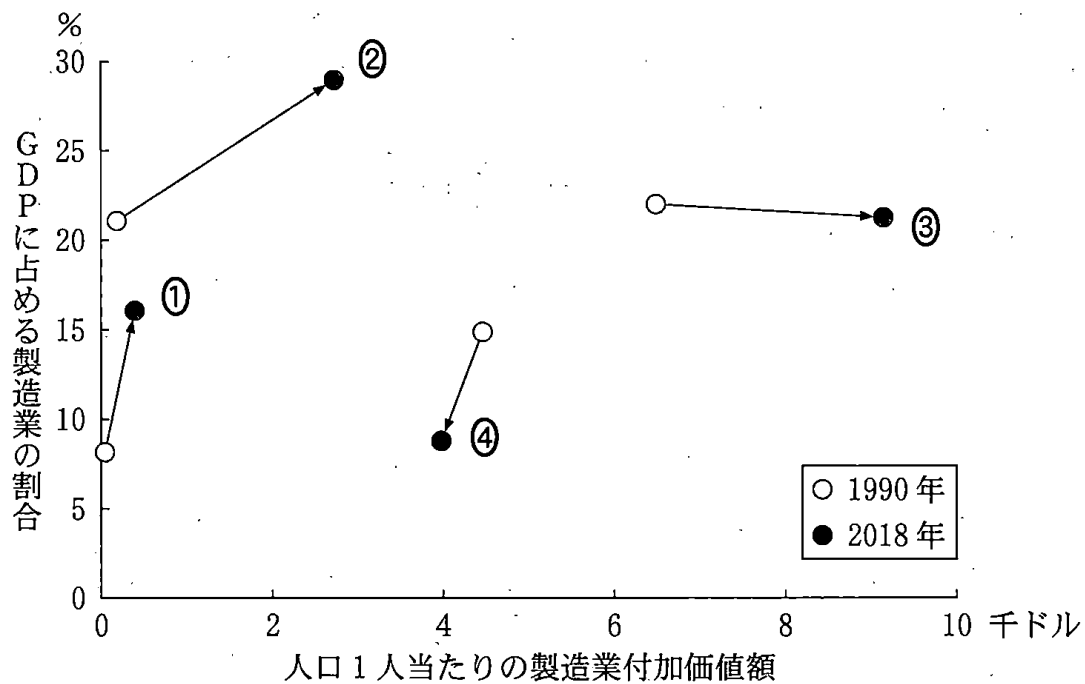
	①	②	③	④	⑤	⑥
E	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
F	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
G	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 4 ヨシエさんたちは、製造業が発展するためには、付加価値の高い製品の開発が重要だと学習した。次の図4は、いくつかの国における、1990年と2018年の人口1人当たりの製造業付加価値額*と、GDPに占める製造業の割合を示したものであり、①~④は、イギリス、中国**、ドイツ、ベトナムのいずれかである。ドイツに該当するものを、図4中の①~④のうちから一つ選べ。

10

*生産額から、賃金以外の生産に必要な諸経費を引いた、新たに作り出された価値の金額。

**台湾、ホンコン、マカオを含まない。

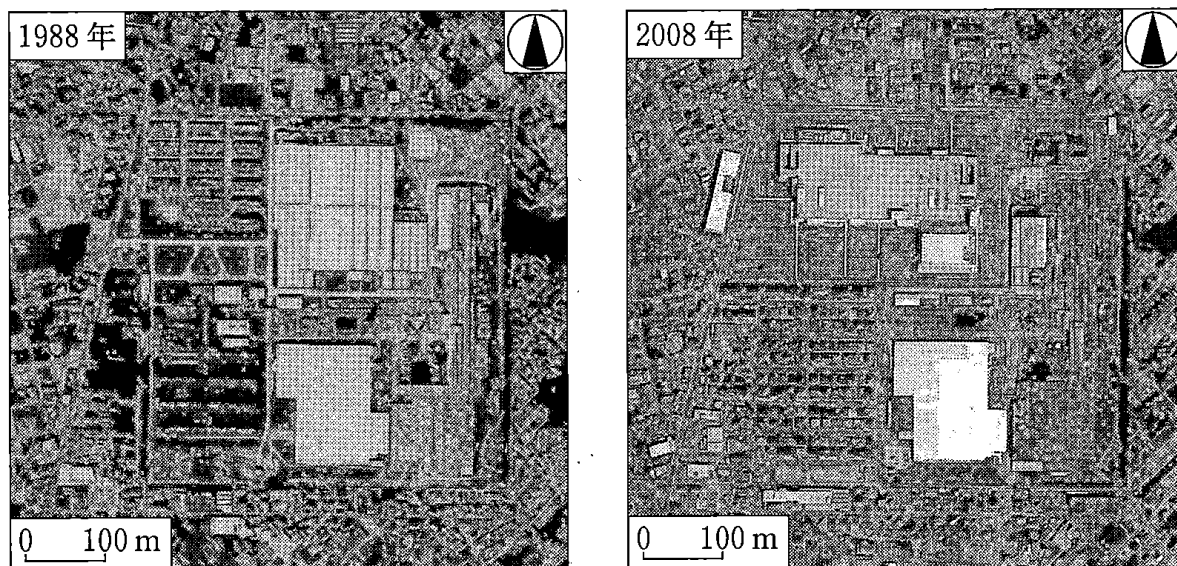


World Bankの資料により作成。

図 4

地理B

問 5 ヨシエさんたちは、日本国内での製造業の変化と地域への影響について調べた。次の図5は、日本の大都市圏のある地域における1988年と2008年の同範囲の空中写真である。図5に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 11

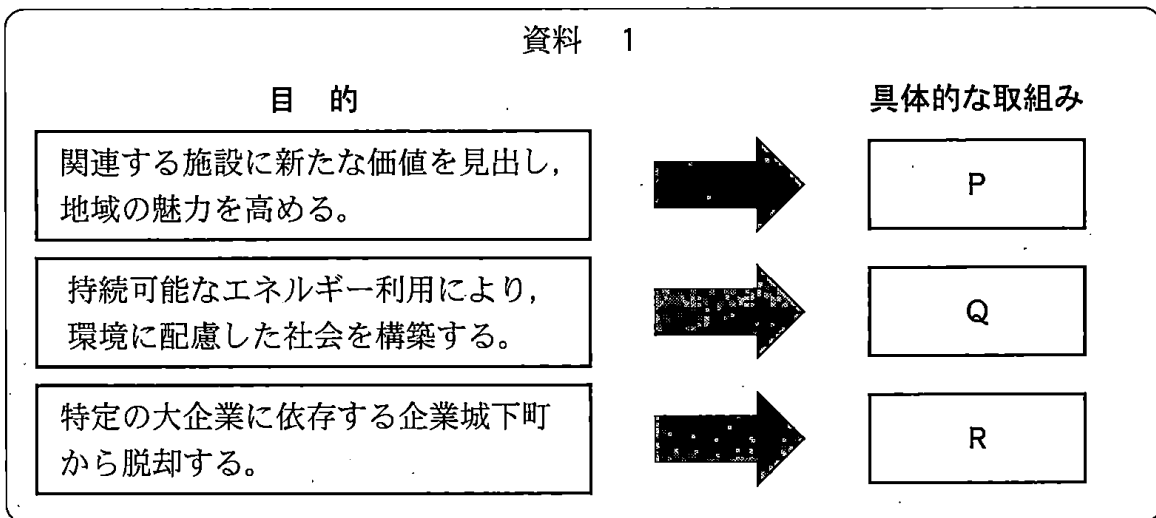


地理院地図により作成。

図 5

1988年時点で操業していたこの繊維工場は、後に一部が閉鎖された。この時期には、日本の繊維工業は、①豊富な労働力を求めて国内の農村部に工場が移転する傾向がみられた。閉鎖された工場の敷地の一部には、大型複合商業施設が開業し、②単独で立地するスーパーマーケットよりも広範囲から買い物客が訪れている。一方で、2008年時点でも工場の一部は残っており、その西側は、③戸建ての住宅地へと変化している。大都市圏に残った工場の中には、高付加価値製品の生産や、④製品や技術の研究開発を行う拠点に転換するものもみられる。

問 6 最後にヨシエさんたちは、製造業が地域社会に様々な影響を及ぼしてきたことに着目した。次の資料 1 は、日本において製造業が盛んなくつかの地域における、資源や産業をめぐる新しい取組みについて、ヨシエさんたちがまとめたものである。資料 1 中の空欄 P ~ R には、具体的な取組みを述べた文サ ~ スのいずれかが当てはまる。P ~ R とサ ~ スとの組合せとして最も適当なものを、後の① ~ ⑥のうちから一つ選べ。 12



具体的な取組み

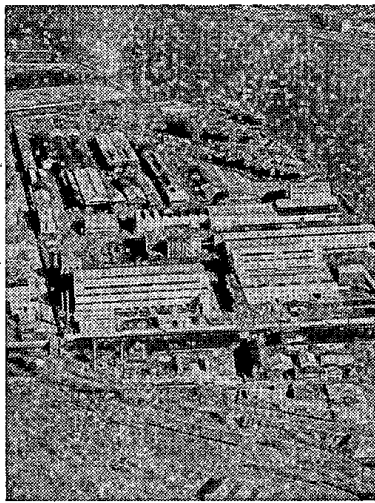
- サ 地元の中小企業が地域の大学や他企業と連携して、製造業の新たな分野に進出する。
- シ 照明がともされた稼働中の工場群を、夜景として観賞できる機会を提供する。
- ス 生ごみや^{かんぱつ}間伐材を利用して発電する施設を建設し、地域の電力自給率を向上させる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

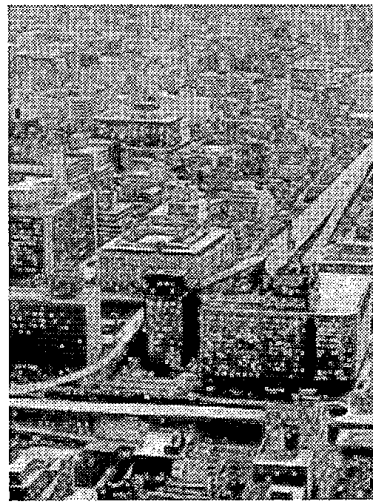
地理B

第3問 都市と生活文化に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

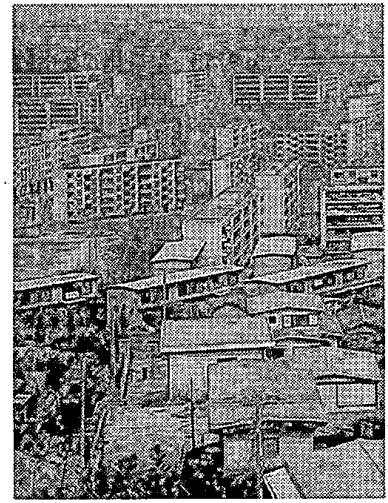
問1 次の写真1中のA～Cは、日本のある大都市圏における都心、郊外、臨海地域のいずれかについて、1960年代の景観を撮影したものである。また、後の文章ア～ウは、A～Cのいずれかの地域における1960年代以降の様子について述べたものである。A～Cとア～ウとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 13



A



B



C

写真 1

ア この地域では、1960年代から1980年代にかけて、地価上昇などにより人口が減少していた。1990年代後半以降になると、地価下落や通勤の利便性を背景に、人口が増加に転じた。

イ この地域では、1960年代当時、核家族世帯の転入が急増した。現在では高齢化が進んでいる場所がみられる一方、建て替えも進み、新たな転入者が増えている場所もある。

ウ この地域では、1960年代当時、多数の人々が働いていた。現在では、広大な空き地を利用して大規模なレジャー施設が立地している。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 次の表1は、日本のいくつかの市区における昼夜間人口比率*と、それぞれの市区への通勤・通学者**が利用する主要な交通手段***の割合を示したものである。表1中の①～④は、秋田市、東京都心の中央区、東京郊外の調布市、福岡市のいずれかである。福岡市に該当するものを、①～④のうちから一つ選べ。 14

*昼間人口÷夜間人口×100。

**15歳以上の自宅外就業者・通学者。

***複数回答を含む。

表 1

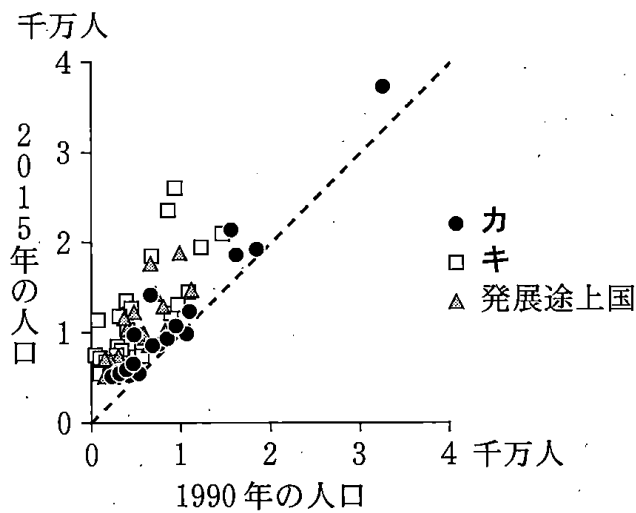
	昼夜間人口比率	通勤・通学者が利用する 主要な交通手段の割合(%)		
		鉄 道	乗合バス	自家用車
①	456.1	91.6	10.5	3.9
②	109.8	33.2	17.3	30.0
③	103.7	5.2	4.9	70.8
④	83.9	49.7	12.8	10.9

統計年次は2020年。国勢調査により作成。

地理B

問 3 次の図1は、2015年における世界の人口500万人以上の都市圏について、1990年と2015年の人口を先進国*、BRICS、発展途上国に分けて示したものであり、凡例カとキは、先進国とBRICSのいずれかである。また、後の文章は、図1に関することがらについて述べたものであり、空欄xには、金融業と小売業・サービス業のいずれかが当てはまる。凡例キに該当する語句と空欄xに当てはまる語句との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 15

*OECD加盟国。



World Urbanization Prospects により作成。

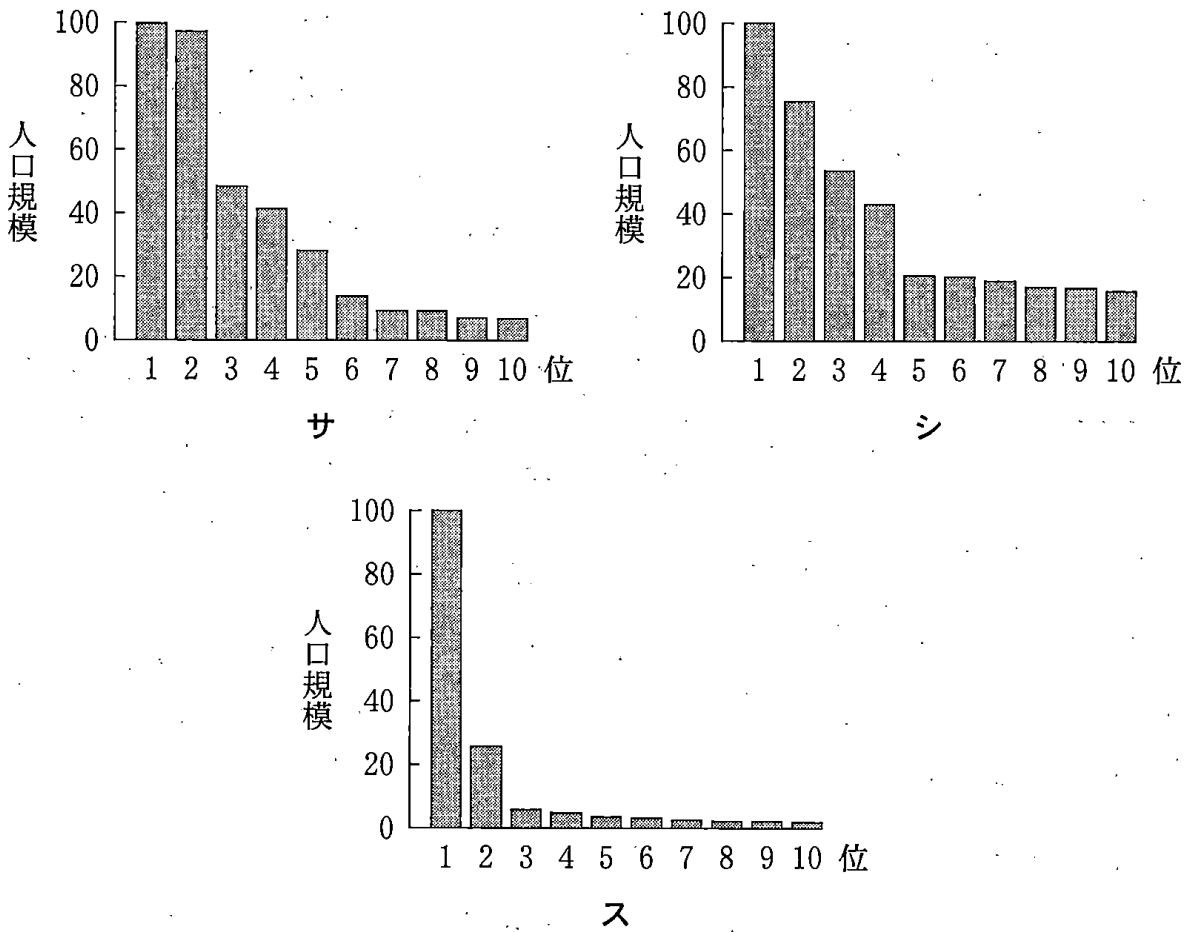
図 1

図1中に示した発展途上国の都市圏において、人口が急増してきた要因の一つとして、農村部から人々が都市圏に流入したことがあげられる。そうした人々は、(x)に従事することが多い。

	①	②	③	④
キ	先進国	先進国	BRICS	BRICS
x	金融業	小売業・サービス業	金融業	小売業・サービス業

問 4 次の図2は、いくつかの国における都市圏の人口規模*を、1位から10位まで示したものである。図2中のサ～スは、イタリア、オーストラリア、バンラデシュのいずれかである。国名とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 16

*人口規模は、各国における人口規模1位の都市圏人口を100とした指数。



統計年次は2015年。World Urbanization Prospectsにより作成。

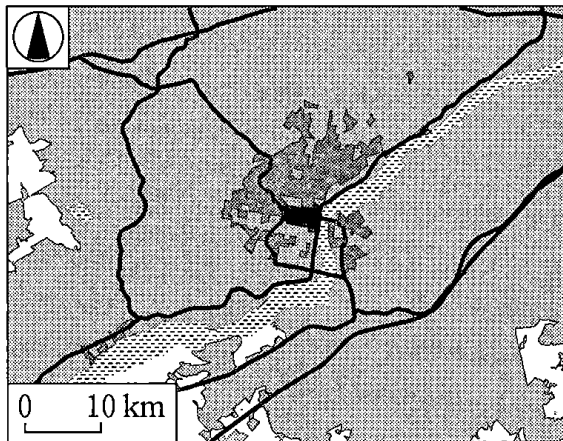
図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
イタリア	サ	サ	シ	シ	ス	ス
オーストラリア	シ	ス	サ	ス	サ	シ
バンラデシュ	ス	シ	ス	サ	シ	サ

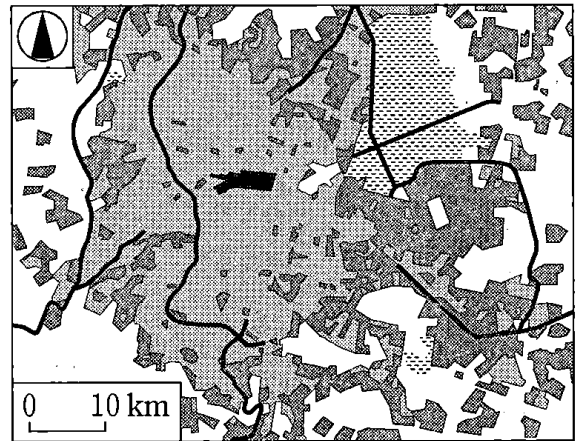
地理B

問 5 次の図3は、アメリカ合衆国のフィラデルフィア都市圏とメキシコのメキシコシティ都市圏において、貧困が問題となっている地区*の分布を示したものである。図3に關することがらについて述べた文として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 17

*フィラデルフィア都市圏は、1世帯当たり所得中央値が下位10分の1の地区。メキシコシティ都市圏は、低級住宅地区。



フィラデルフィア都市圏



メキシコシティ都市圏

貧困が問題となっている地区
 都心地区
 市街地
 水域・湿地帯
 その他
 主要な高速道路

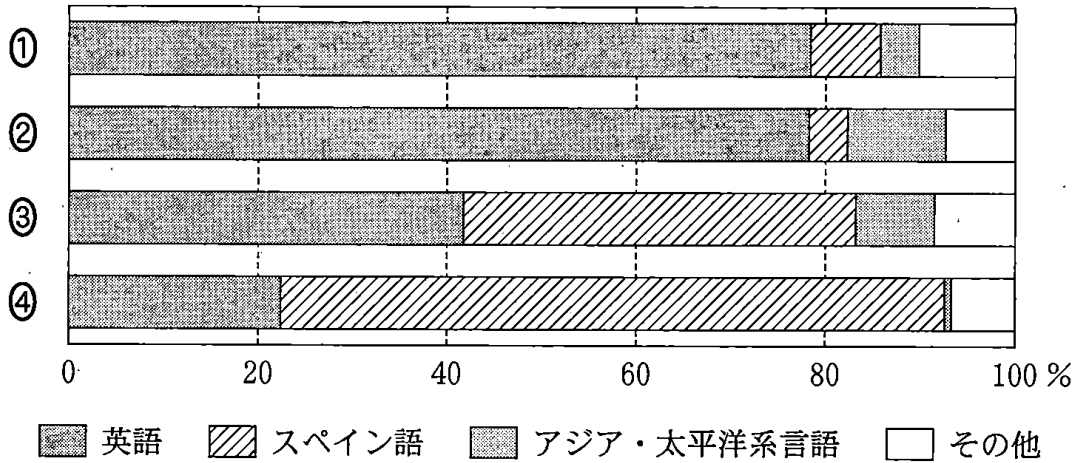
Diercke Weltatlas, 2017 などにより作成。

図 3

- ① フィラデルフィア都市圏において貧困が問題となっている地区は、早期から都市化したか、現在は住宅の老朽化や製造業の衰退がみられる。
- ② メキシコシティ都市圏において貧困が問題となっている地区は、上下水道などの社会基盤(インフラ)が十分に整備されていない場所に広がる。
- ③ 貧困が問題となっている地区の分布を比較すると、フィラデルフィア都市圏の方が都市圏中心部に集中している。
- ④ 貧困が問題となっている地区は、両都市圏ともに主要な高速道路に沿って放射状に広がっている。

地理B

問 6 次の図4は、アメリカ合衆国のいくつかの都市において家庭で使用されている主要な言語の割合を示したものである。図4中の①～④は、後の図5中のシアトル、ミネアポリス、ロサンゼルス、マイアミのいずれかである。シアトルに該当するものを、図4中の①～④のうちから一つ選べ。 18



アジア・太平洋系言語には、インド・ヨーロッパ系言語を含まない。
統計年次は2020年。American Community Surveyにより作成。

図 4

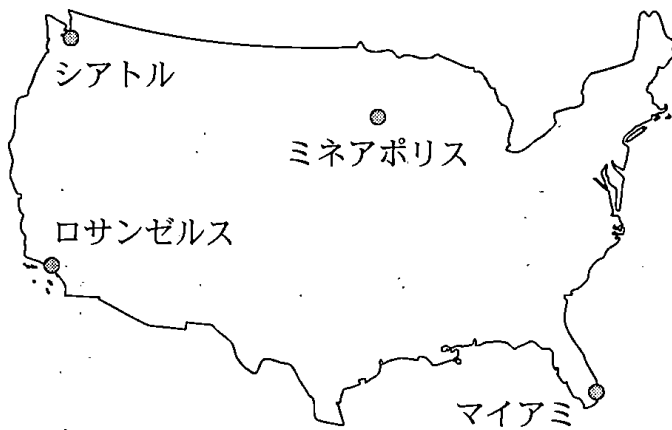
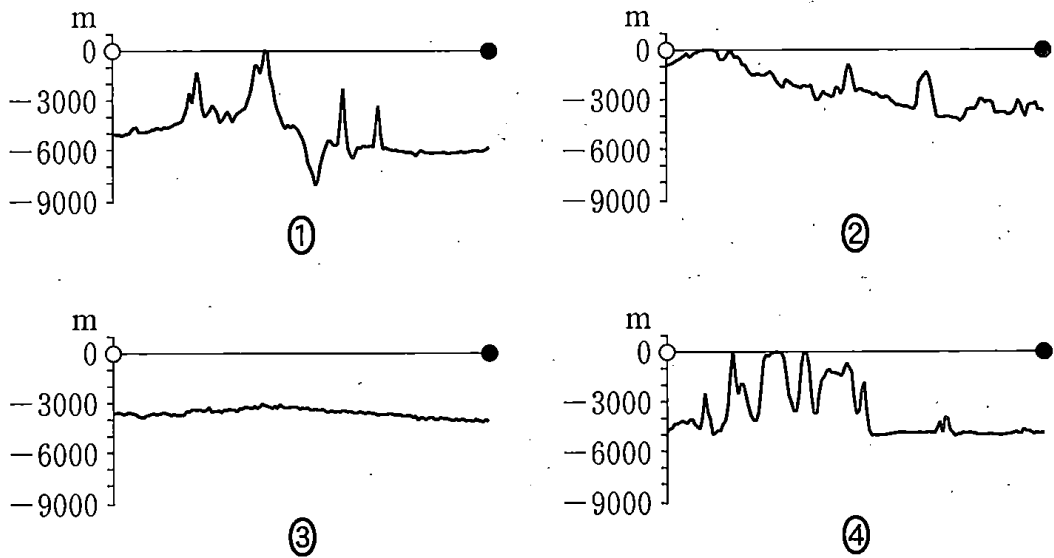


図 5

地理B

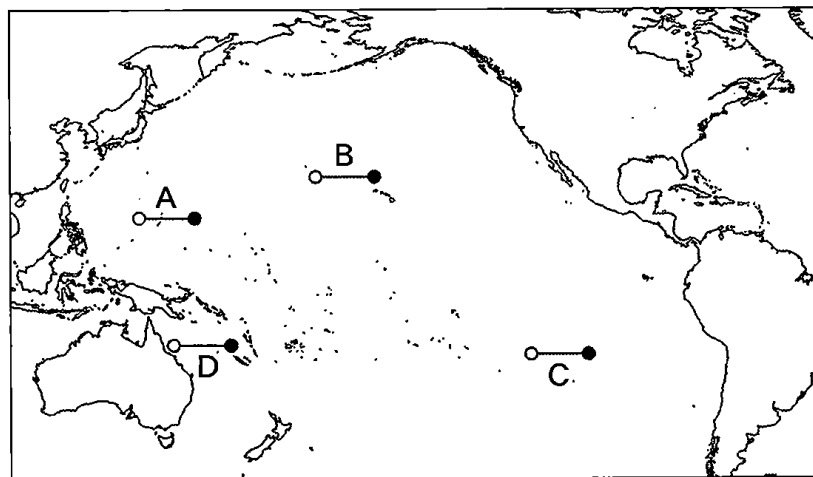
第4問 環太平洋の地域に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 太平洋には多様な海底地形がみられる。次の図1は、後の図2中の線A～Dのいずれかに沿った地形断面を示したものである。線Bに該当するものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。 19



高さは強調して表現してある。NOAAの資料により作成。

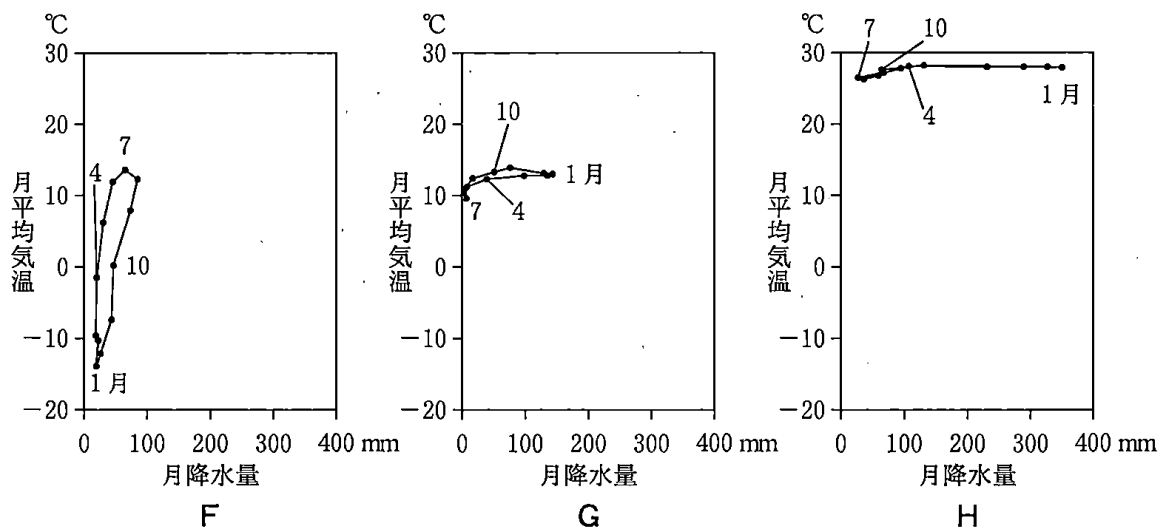
図 1



線A～Dの実距離は等しい。

図 2

問 2 環太平洋の地域には様々な民族衣装がみられ、その素材や機能は地域の気候の特徴を反映している。次の図 3 中の F ~ H は、環太平洋のいくつかの地点における月平均気温と月降水量をハイサーグラフで示したものであり、後の文ア ~ ウは、図 3 中の F ~ H のいずれかの地点とその周辺で見られる民族衣装を説明したものである。F ~ H とア ~ ウとの組合せとして最も適当なものを、後の① ~ ⑥のうちから一つ選べ。 20



気象庁の資料により作成。

図 3

- ア アルパカの毛を用い、防寒性に優れた、頭からかぶる着脱が容易な衣服。
- イ トナカイの毛皮や皮を用い、保温性と断熱性に優れた、全身を覆う衣服。
- ウ 木綿を用い、通気性と吸湿性に優れた、腰に巻く衣服。

	①	②	③	④	⑤	⑥
F	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
G	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
H	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理B

問 3 環太平洋の地域の食文化は、人々の摂取する栄養量を通してみえてくる。次の表1は、いくつかの国における1人1日当たりのたんぱく質供給量を、肉、魚、大豆、牛乳別に示したものであり、カ～クは、日本、カナダ、ベトナムのいずれかである。国名とカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

表 1

(単位：g)

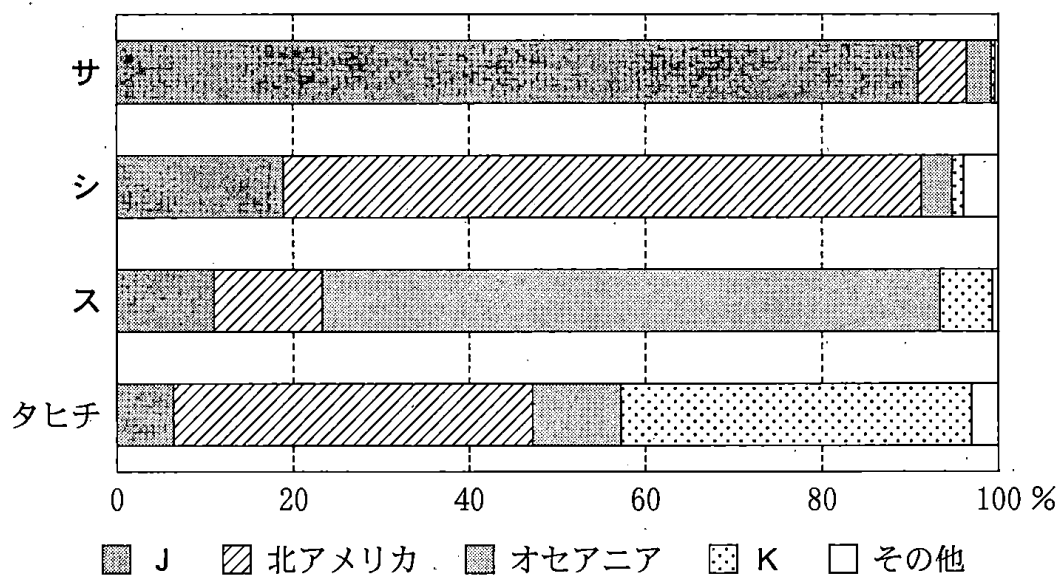
	1人1日当たりのたんぱく質供給量				
	総量	肉	魚	大豆	牛乳
カ	107.1	31.6	5.4	0.8	17.2
チリ	93.2	31.0	3.8	0.0	11.1
キ	87.9	17.6	16.7	8.2	7.4
ク	86.8	17.3	11.2	4.6	2.0

統計年次は2019年。FAOSTATにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
日本	カ	カ	キ	キ	ク	ク
カナダ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
ベトナム	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 4 環太平洋の島嶼国・地域には、世界各地から観光客が来訪する。次の図4は、いくつかの国・地域における2019年の観光客数を出発地域別の割合で示したものである。図4中のサ～スは、後の図5中のグアム、ハワイ、フィジーのいずれか、凡例JとKはアジアとヨーロッパ*のいずれかである。グアムとヨーロッパとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

*ヨーロッパの数値にはロシアを含む。



統計年次は2019年。Hawaii Tourism Authorityの資料などにより作成。

図 4

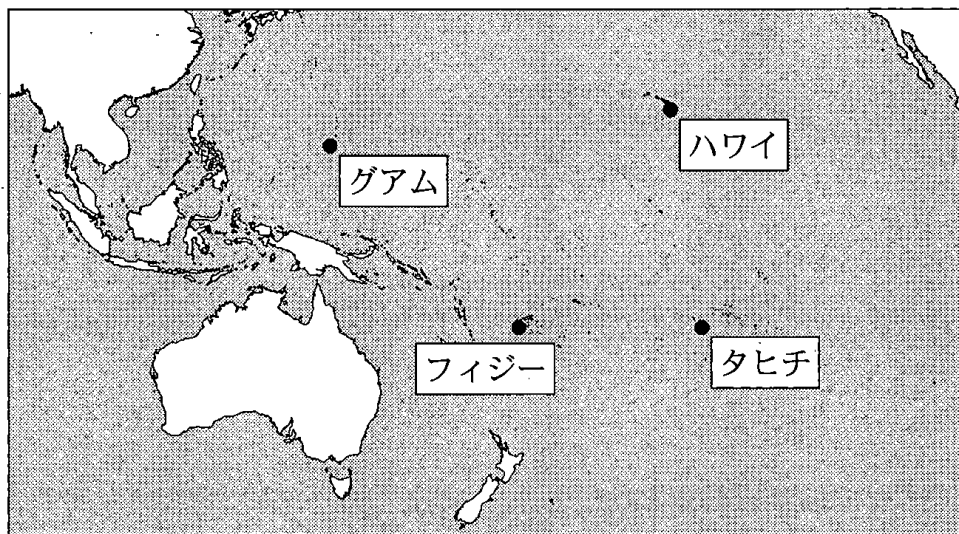


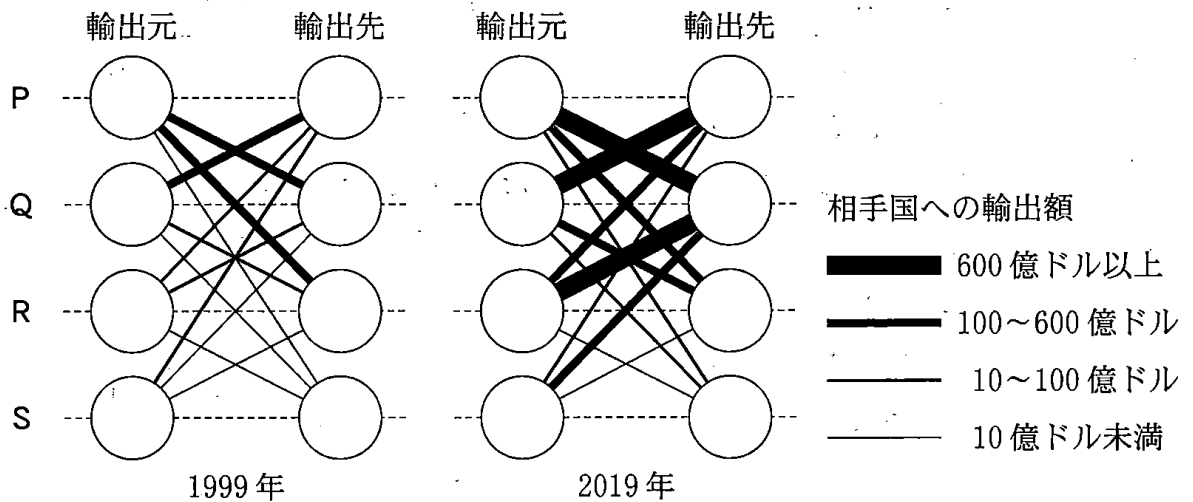
図 5

	①	②	③	④	⑤	⑥
グアム	サ	サ	シ	シ	ス	ス
ヨーロッパ	J	K	J	K	J	K

地理B

問 5 環太平洋の国・地域は、貿易を通じて関係を深めてきた。次の図6は、環太平洋のいくつかの国における相手国への輸出額を、1999年と2019年について示したものである。図6中のP～Sは、アメリカ合衆国、オーストラリア、中国*、ペルーのいずれかである。中国に該当するものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 23

*中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。

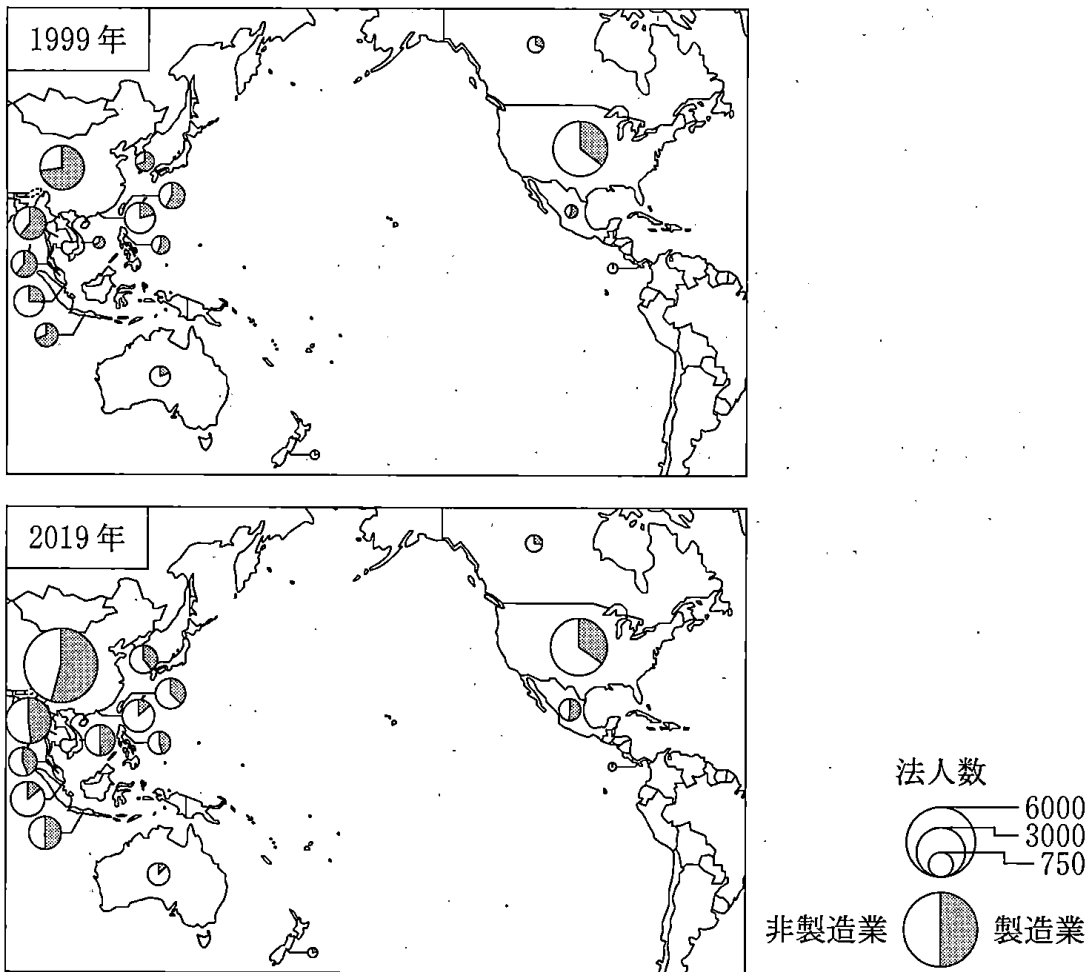


Direction of Trade Statistics により作成。

図 6

- ① P ② Q ③ R ④ S

問 6 日本の企業は、環太平洋の国・地域に多く進出している。次の図7は、1999年と2019年における日本企業の現地法人数を国・地域別に示したものである。図7に関することがらについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 24



製造業・非製造業の数が開示されている国・地域のうち、1999年と2019年の法人数がいずれも100未満である国・地域を除いている。

中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。

『海外進出企業総覧(国別編)』により作成。

図 7

1999年から2019年にかけて、日本の企業は新たに、①北アメリカよりもアジアに多く進出した。また、この間の法人数の内訳の変化をみると、②アジアで非製造業の割合が高まった。北アメリカに進出している日本の企業には、③ソフトウェアや人工知能(AI)の開発に関わる企業が含まれる。一方、アジアに進出している日本の製造業として自動車産業がある。日本の自動車企業は、④進出先の工場において部品の生産から完成車の組立てまでを一貫して行っている。

地理B

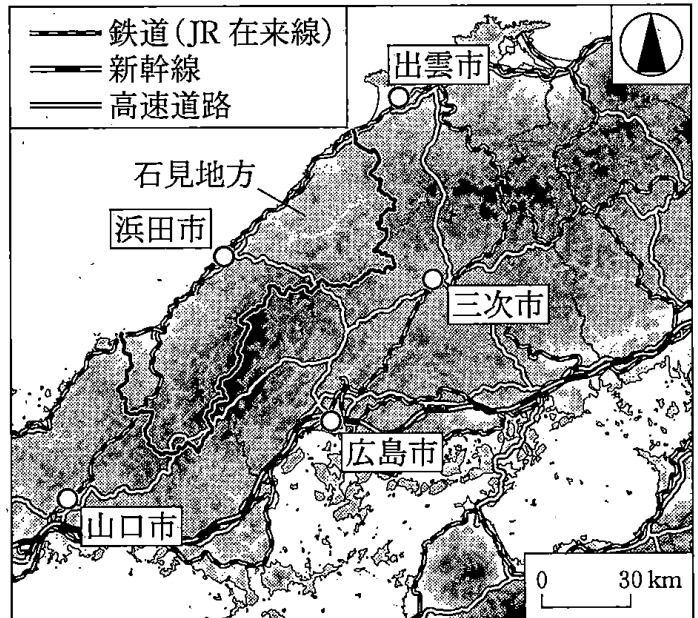
第5問 広島市に住むサチさんとトモさんは、島根県石見地方の浜田市に住む親戚のマサさんを訪ねて地域調査を行うことにした。この地域調査に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 サチさんたちは、浜田市の冬の気候が広島市と異なるとマサさんから聞き、浜田市の気候の特徴を他の都市と比較した。次の表1は、図1に示したいくつかの都市における、1月の日照時間と平均気温を示したものであり、ア～ウは、浜田市、広島市、三次市のいずれかである。都市名とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 25

表 1

	日照時間 (時間)	平均気温 (°C)
ア	138.6	5.4
イ	85.7	1.9
ウ	64.2	6.2

1991～2020年の平年値。
気象庁の資料により作成。



色の濃い部分ほど標高の高い地域を示している。
国土数値情報などにより作成。

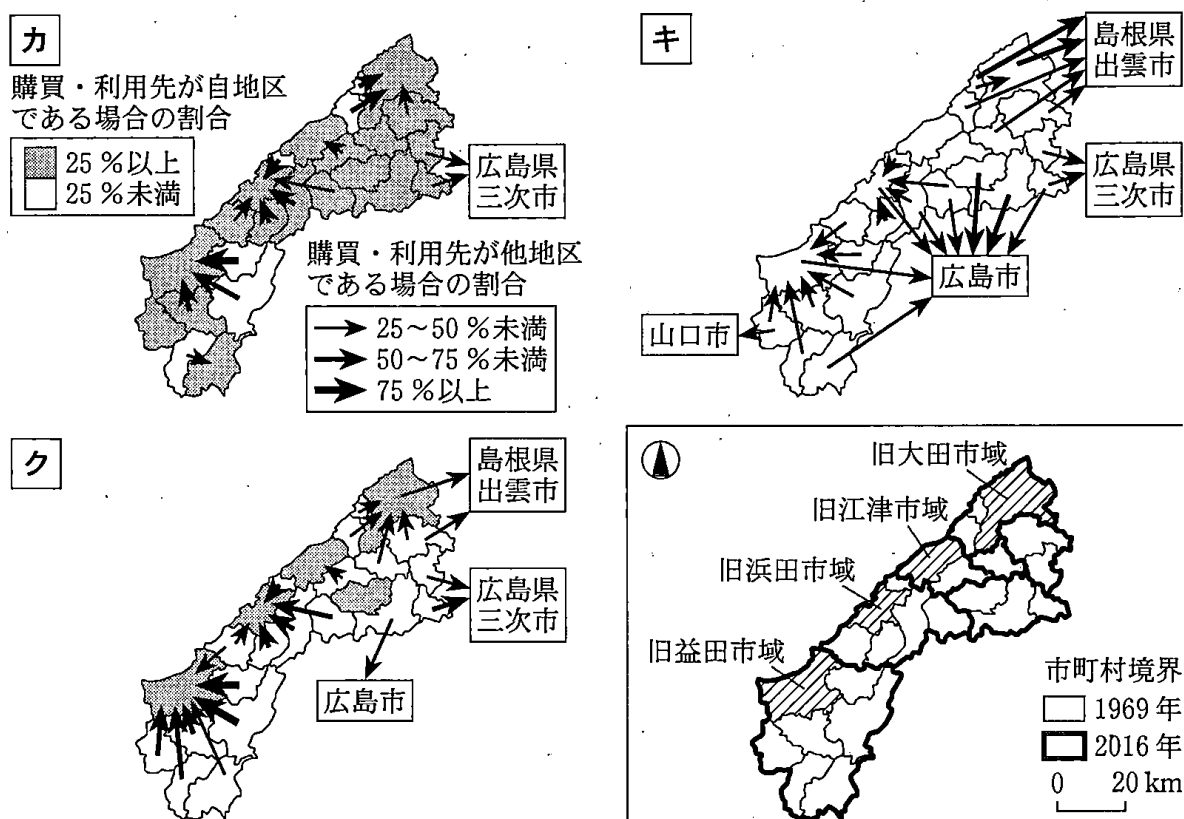
図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
浜田市	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
広島市	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
三次市	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 サチさんたちは、広島市と浜田市の間にはバスが毎日多く運行されていることに興味をもち、生活の中における様々な地域への移動を調べた。次の図 2 は、図 1 中の石見地方の各地区*におけるいくつかの商品やサービスの主な購買・利用先を示したものであり、カ～クは、衣料品・身回品、^{みのまわり} 娯楽・レジャー**、食料品のいずれかである。項目名とカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 26

*1969 年時点での市町村。

**身回品は靴やカバンなどを、娯楽・レジャーは旅行などを指す。



購買・利用先に関する凡例は、カ～クで共通である。
 統計年次は 2016 年。『島根県商勢圏実態調査報告書』などにより作成。

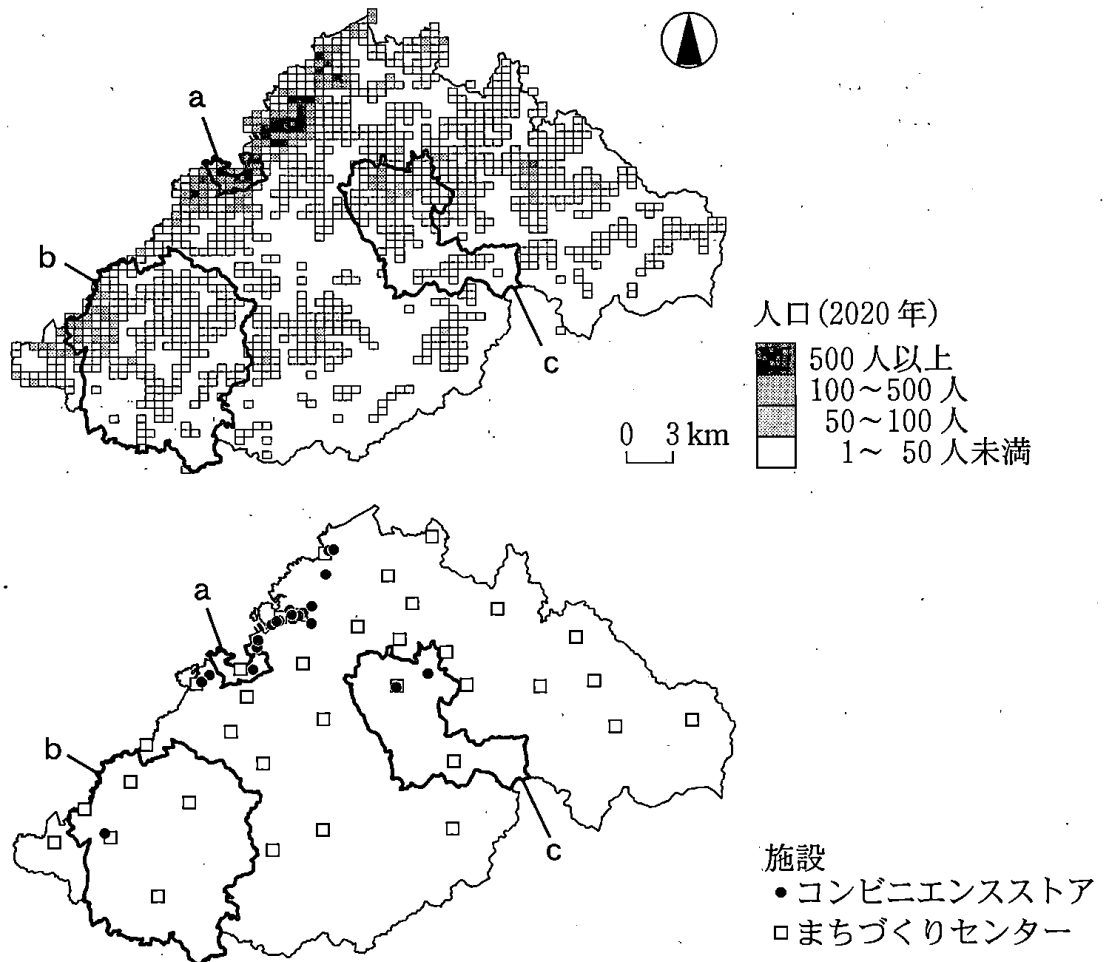
図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
衣料品・身回品	カ	カ	キ	キ	ク	ク
娯楽・レジャー	キ	ク	カ	ク	カ	キ
食料品	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理B

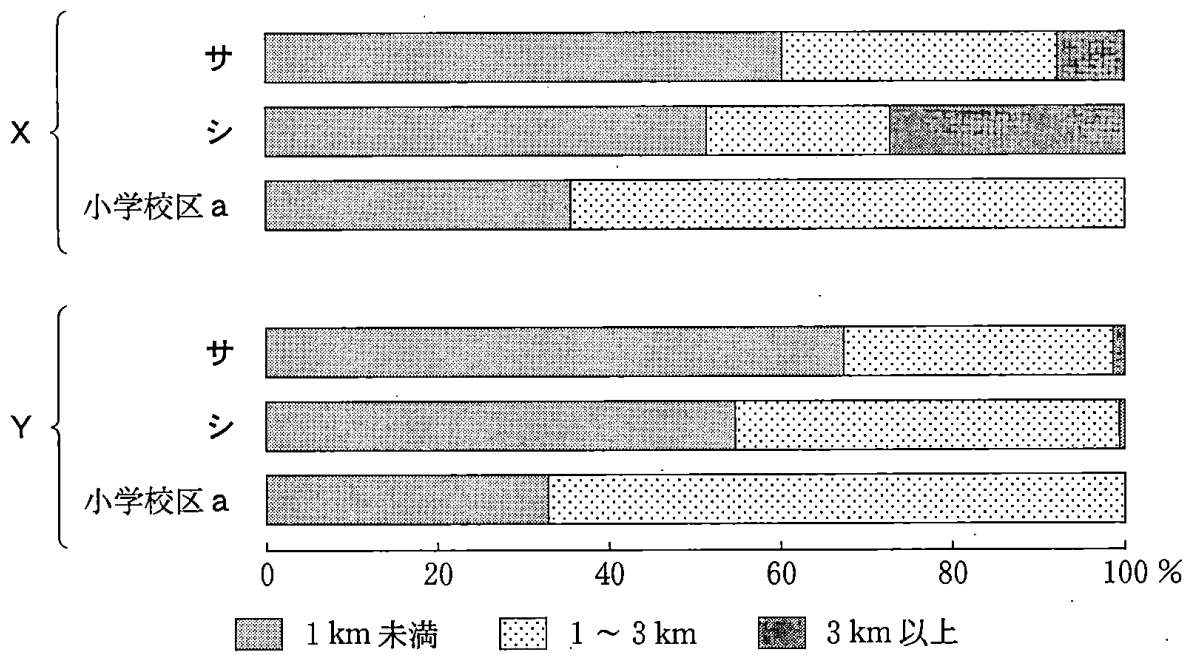
問 3 マサさんと合流後、市役所を訪れたサチさんたちは、浜田市が地域住民による活動を推進するためにまちづくりセンター*を設置していることを知り、その立地を他の施設と比較した。次の図3は、浜田市における人口分布といくつかの施設の立地を示したものである。また、後の図4は、図3中の小学校区a～cのいずれかにおける最寄りの施設への距離別人口割合を示したものであり、図4中のXとYはコンビニエンスストアとまちづくりセンターのいずれか、サとシは小学校区bとcのいずれかである。まちづくりセンターと小学校区bとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 27

*社会教育や生涯学習、協働の地域活動を推進する拠点施設。



国勢調査などにより作成。

図 3



施設への距離は、直線で計測した。
 国勢調査などにより作成。

図 4

	①	②	③	④
まちづくりセンター	X	X	Y	Y
小学校区 b	サ	シ	サ	シ

地理B

問 4 次にサチさんたちは、マサさんに案内してもらい、写真を撮りながら浜田市の市街地とその周辺のいくつかの地域を回った。次の図5は、地理院地図にサチさんたちによる撮影地点を示したものであり、写真1中のE～Hは、それぞれ図5中の地点E～Hで撮影したものである。図5と写真1に関することがらについてサチさんたちが話し合った会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

28

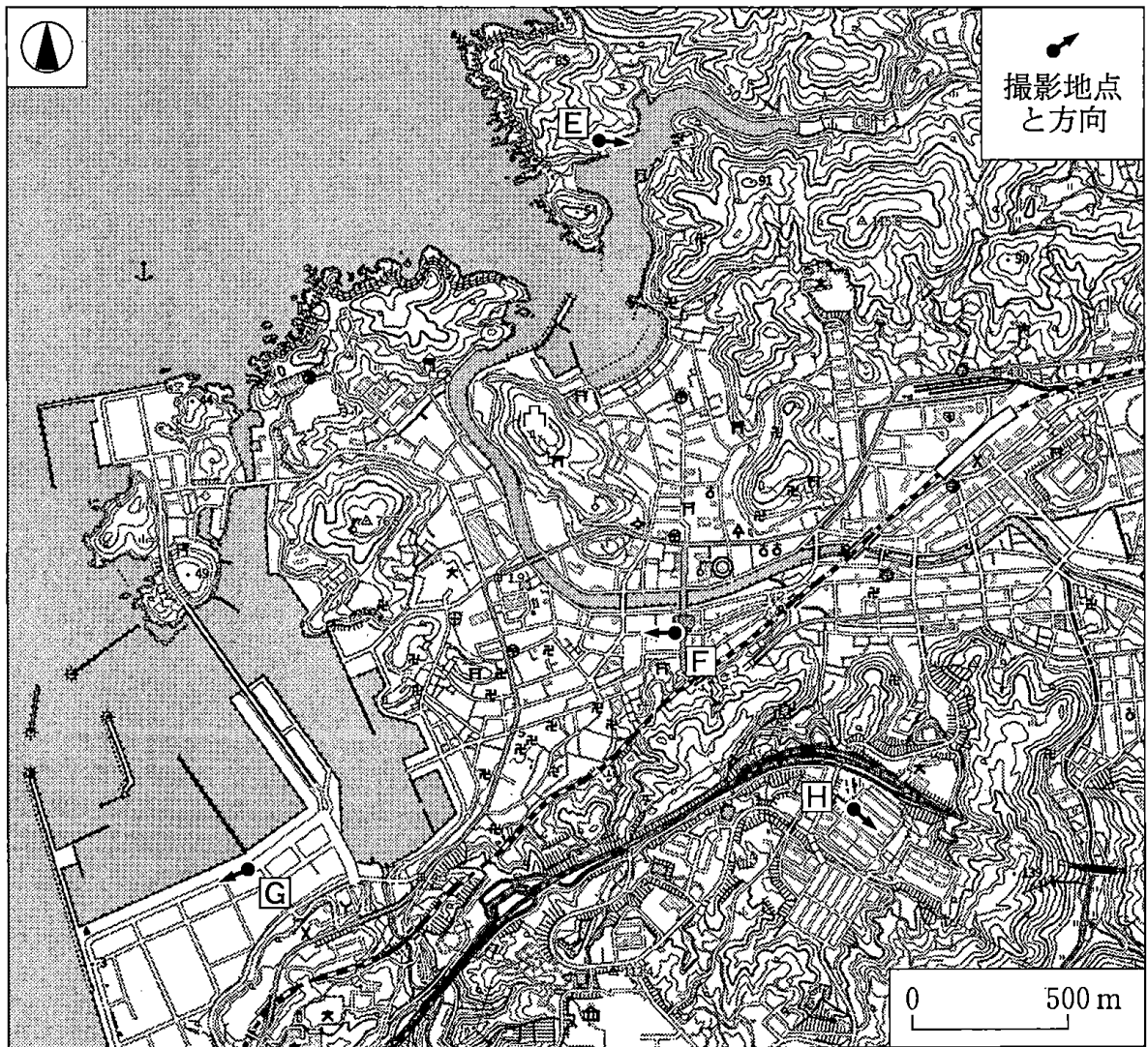


図 5

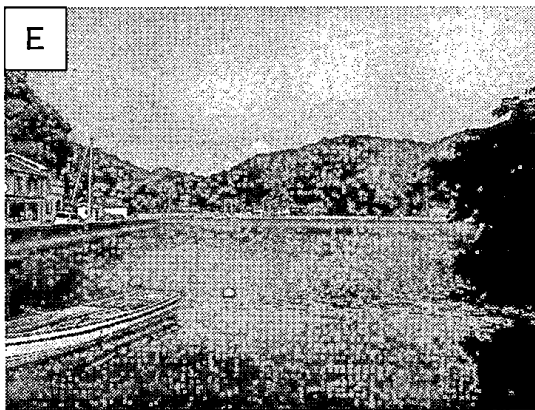


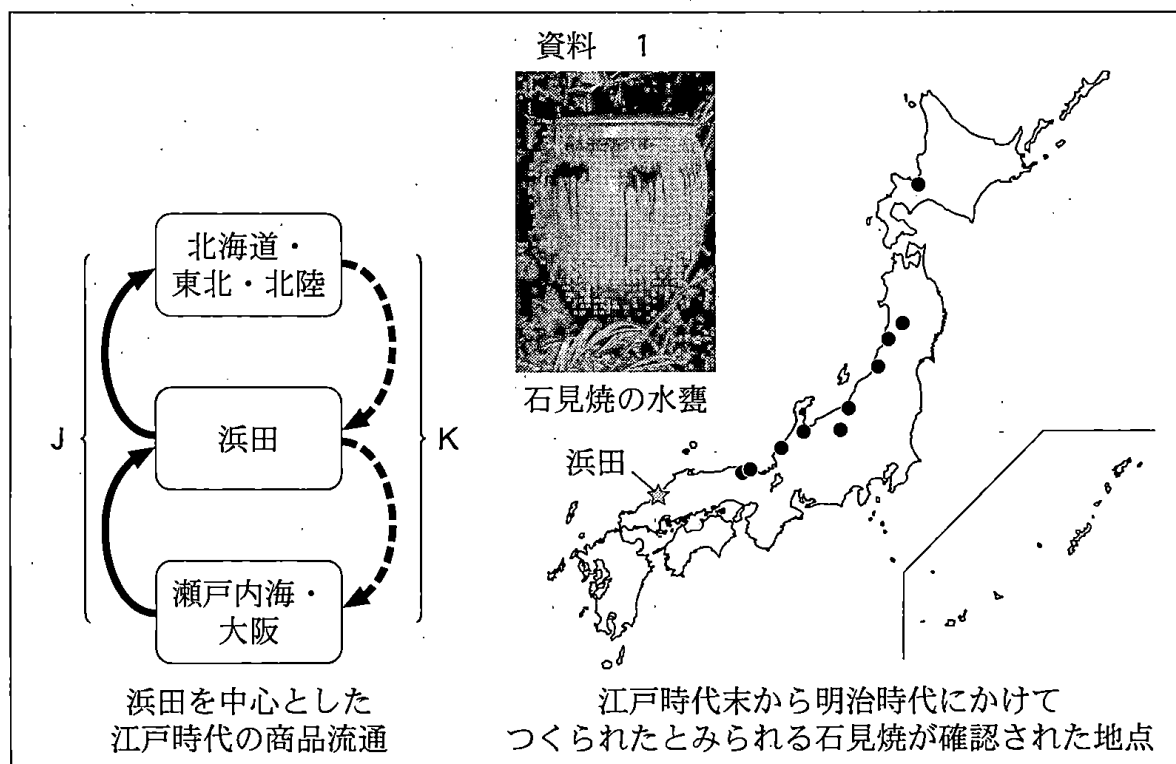
写真 1

- マ サ 「港町として栄えていたことが、浜田城築城の一因なんだよ。城の麓には城下町が広がっていたんだ」
- サ チ 「かつてEのあたりが港の中心であったのは、①内湾のため、波が穏やかで船を安全に停泊させることができたからだね」
- ト モ 「Fには、古くからの街道が通っているよ。写真では、②モータリゼーションに対応した大規模な再開発がされているね」
- マ サ 「土地の改変状況はどのようになっているかな」
- サ チ 「山が海岸に迫っていて、平地が少ないね。漁業関連の施設が集積しているGのあたりは、③広い土地を造成するため、海を埋め立てて造られたと考えられるよ」
- ト モ 「住宅地であるHは、④高台にあり、切土や盛り土をして造成されたことが読み取れるね」

地理B

- 問 5 市内の資料館を訪れたサチさんたちは、浜田に関する商品流通の歴史に興味をもち、次の資料1を作成した。資料1をもとにサチさんたちが話し合った会話文中の空欄 タ と チ に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

29



『ふるさと浜田の歩み』などにより作成。

- マ サ 「浜田は、かつて物流の拠点の一つとして、にぎわっていたんだよ」
- ト モ 「江戸時代の商品流通をみると、瀬戸内海・大阪から北海道・東北・北陸に向かう経路 J では、浜田へ(タ)などが運ばれていたんだね」
- マ サ 「浜田をはじめとする石見地方の特産品の一つに、^{かめ}甕などの陶器があったよ。この陶器は、石見地方で採れる粘土などを原料としたもので、石見焼と呼ばれて明治時代に最盛期を迎えたといわれているよ」
- サ チ 「浜田から東北・北陸地方へは、主に(チ)で運ばれたと考えられるね」

	①	②	③	④
夕	米・昆布	米・昆布	砂糖・塩	砂糖・塩
チ	海路	陸路	海路	陸路

問 6 サチさんたちは、石見地方が現在では過疎問題に直面していることを知り、その発生要因と解決に向けた取組みについて、次の資料 2 にまとめた。資料 2 中の①～④は、P～S を目的とする石見地方での取組みのいずれかの具体例である。P を主な目的とする具体例として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。

30

資料 2

なぜ過疎問題が発生するのか？

- ・雇用の少なさ
- ・生活環境の不便さ
- ・大都市からの遠さ
- ・地域への関心の低下
- ・魅力のアピール不足

→

過疎問題の解決のために必要なことは？

【地域内の人々に向けて】

- P 地域文化に対する愛着の醸成^{じょうせい}
- Q 日常生活における利便性の向上

【地域外の人々に向けて】

- R 移住者の働く場所の確保
- S 魅力ある地域産品の宣伝

【石見地方でみられる取組みの具体例】

- ① 交通空白地域における乗合タクシーの運行
- ② 地元で水揚げされる水産物のブランド化
- ③ 伝統行事の保存・継承に対する支援
- ④ 廃校を利用したサテライトオフィスの整備